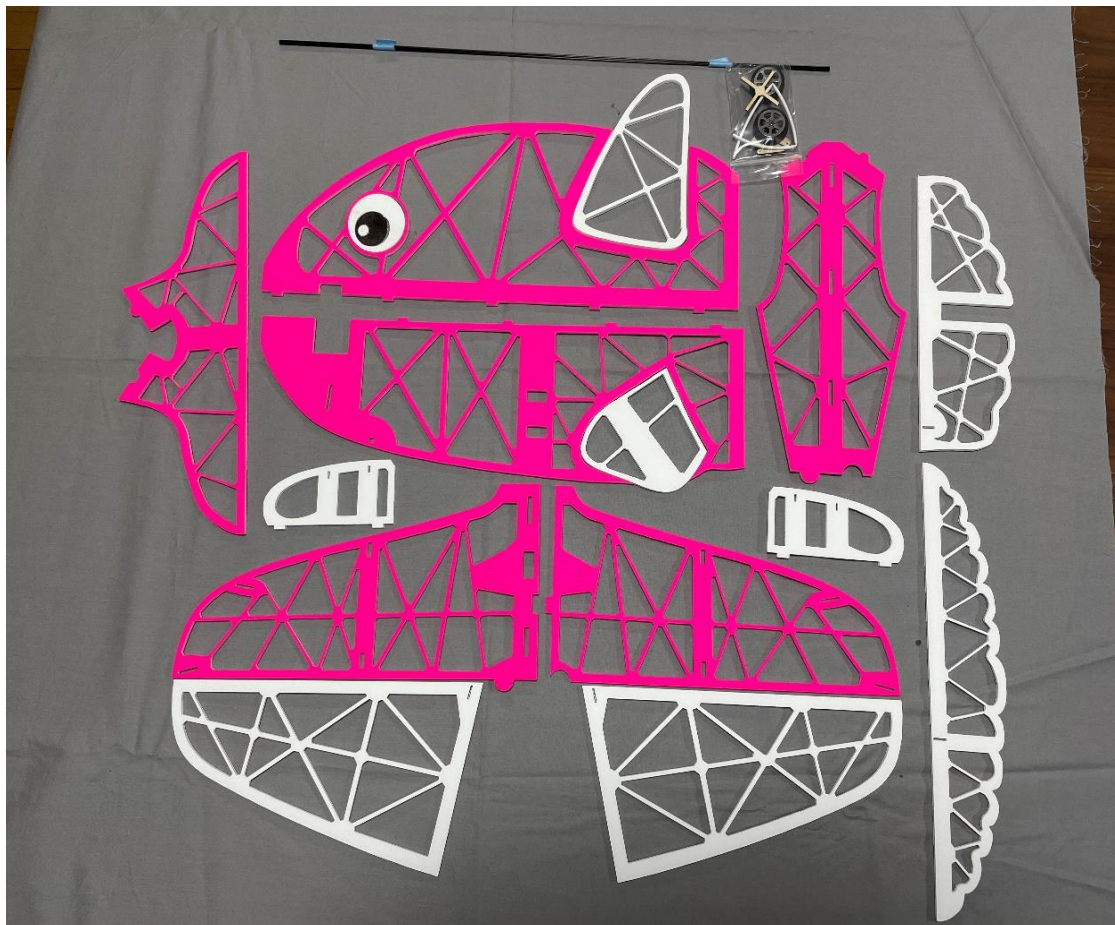


TAM-ND-マンボウ 制作説明書

飛行重量 92 g 翼長440mm 全長480mm

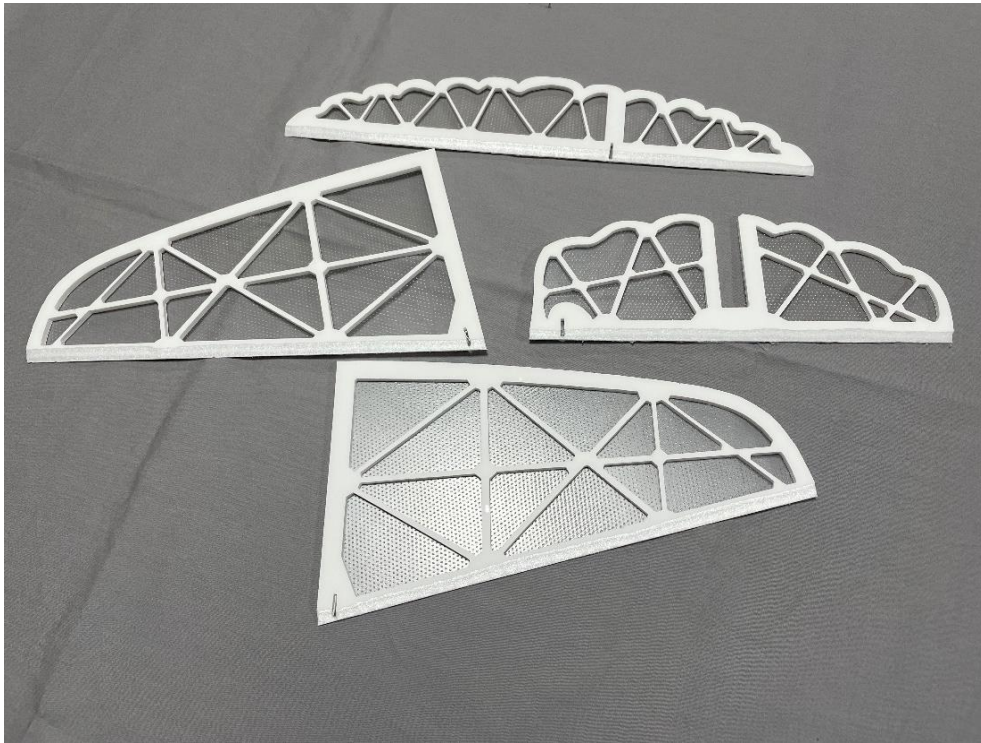


キット詳細

フィルム貼り済キット	本体	一式
タイヤ		2個
モーターマウント		1個
動翼ホーン		4個
リンケージ用0.7mmピアノ線		1本
補強及びリンケージ用カーボンロッド		必要数

1

動翼パーツを斜めにカットする



下記のように可動部を斜めにカットします

*手を切らないように気を付けて



2 基本平らなテーブルで作業します

フィルムを貼っていない面が上です

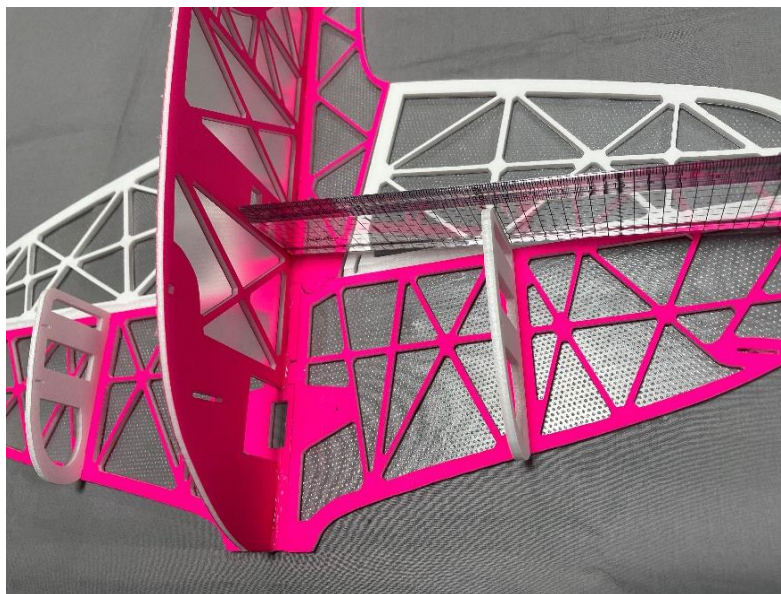
写真のように組み合わせてホットボンド又はセロテープで
接着します（セロテープの場合は両面貼り）

エルロンは上面（フィルムを貼っている面）にセロテープ
を貼り、ヒンジとします

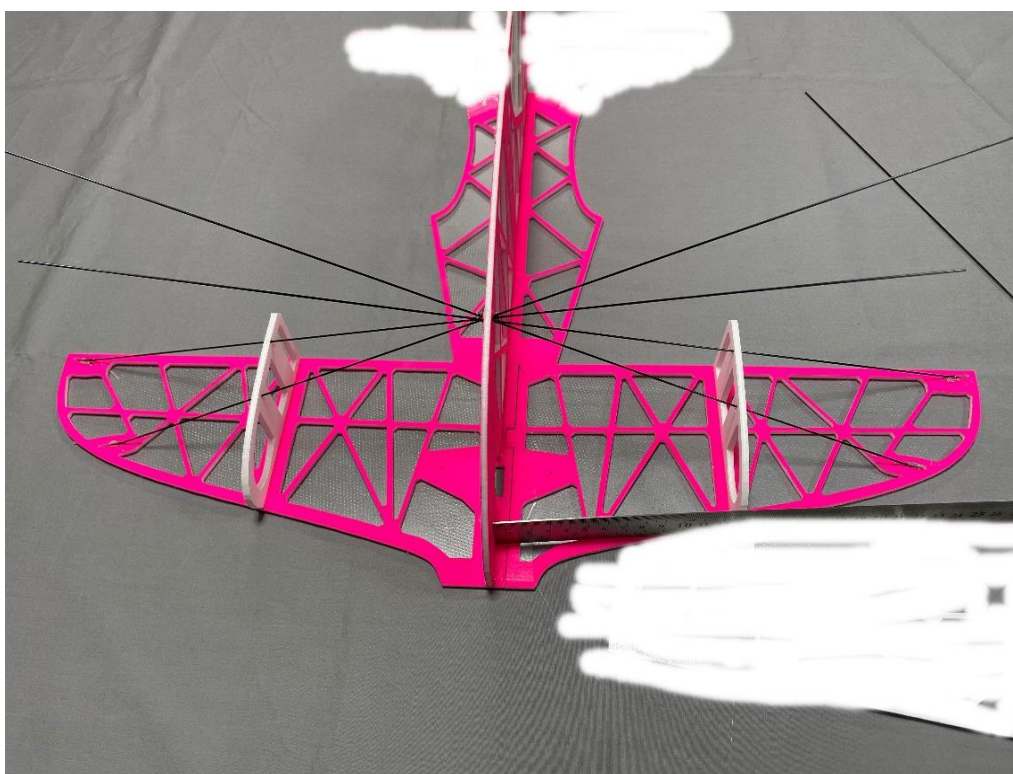
尾翼部は接着しないで下さい（ラダーが取付できません!）



- 3 胴体下部と主翼カーボン支えを接着します
(ホットボンド又は発泡用接着剤で)
写真のように直角を気にして接着願います
*フィルムを貼っていない面が上です

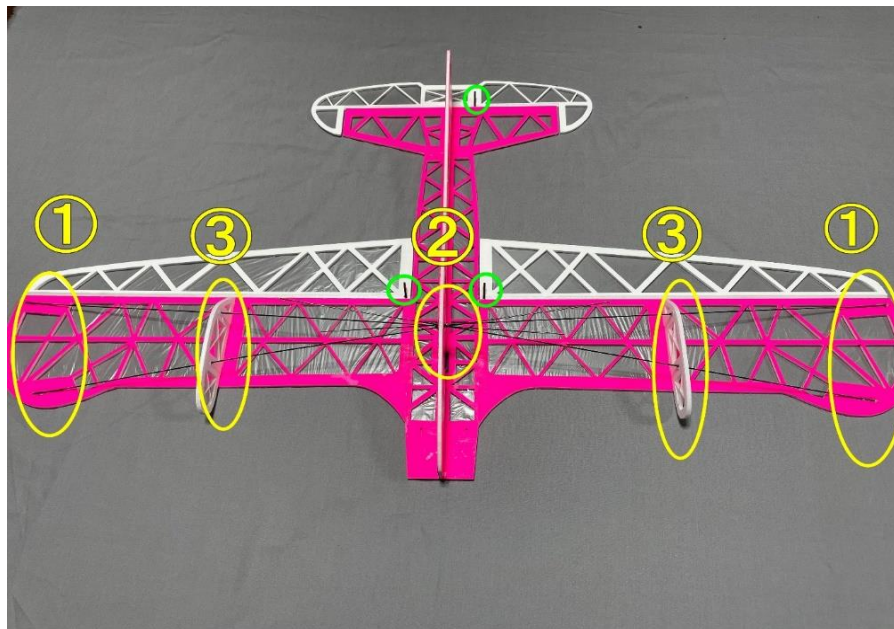


- 3 カーボン補強をします
*表面（フィルムを貼っている面）を上にして作業
この段階でエルロンは付けておいた方が後々楽です
(この写真では付けていませんが2の段階で付けておいた方が
後々楽です)

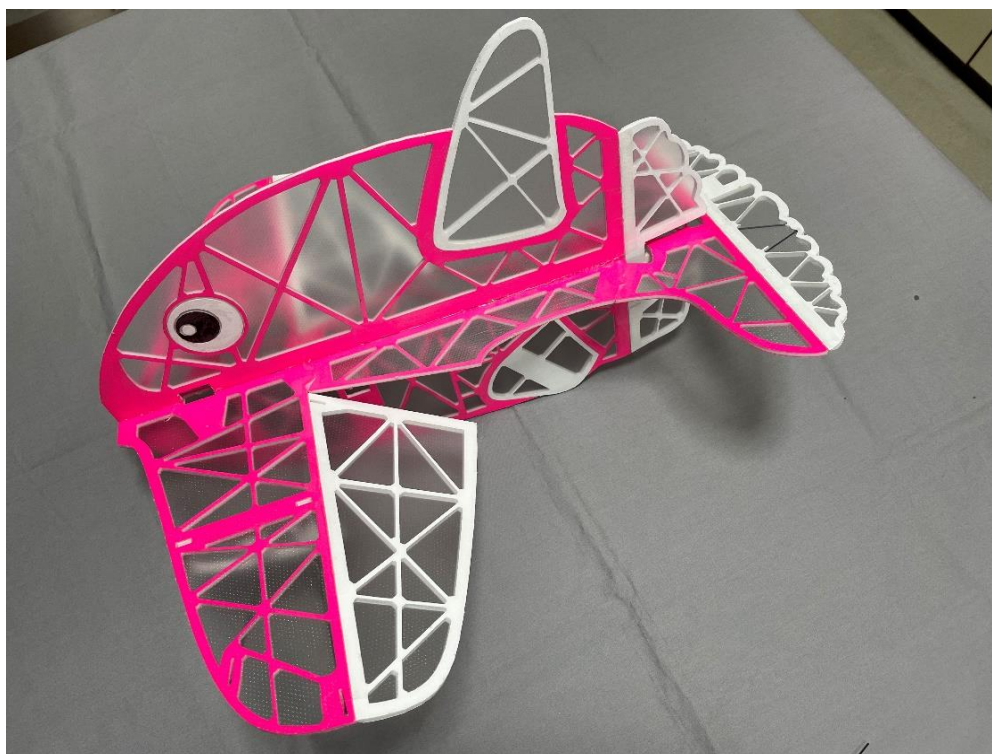


下の写真は別機の参考写真です① ② ③の番号順に接着して下さい
(ホットボンドが良いです。発砲用接着剤だと完全に乾くのに
数日要します)

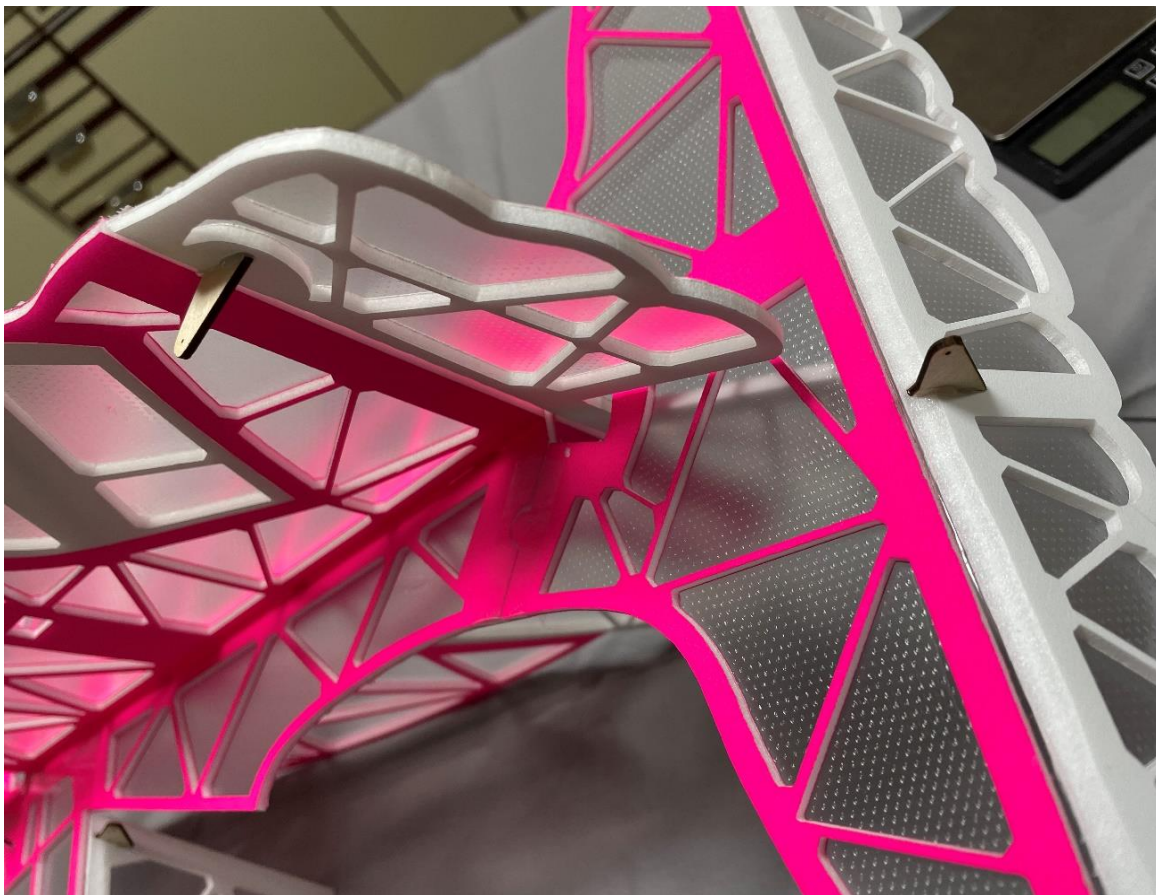
*翼にねじれが無いように注意して下さい



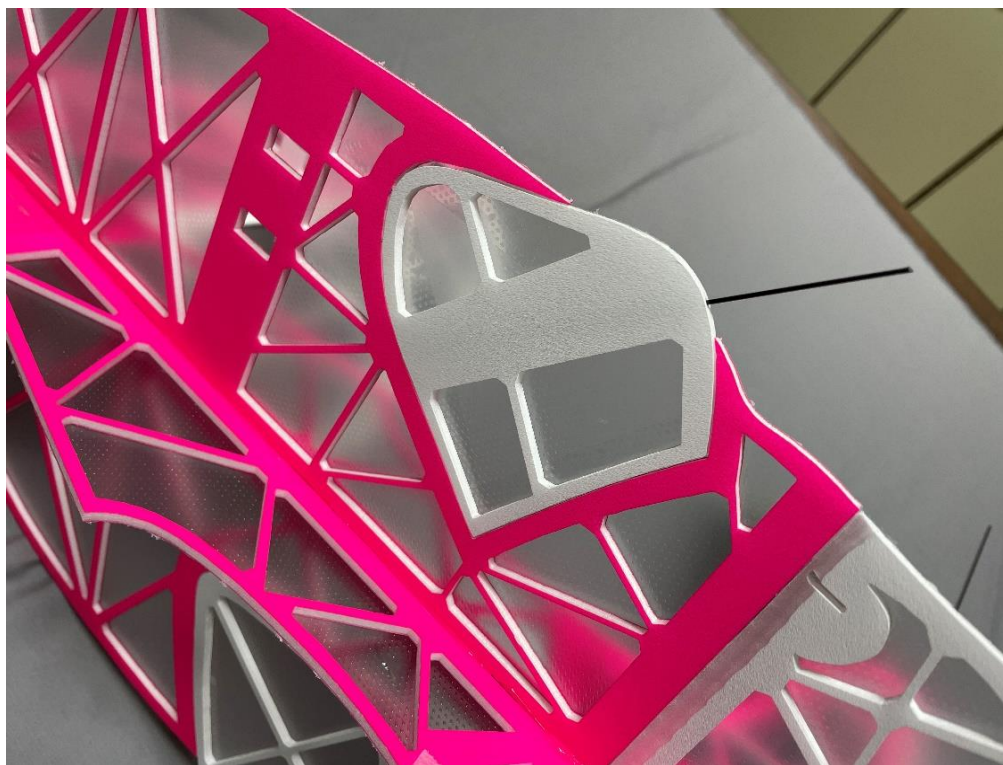
- 4 胴体上部ラダー水平尾翼エレベータを接着します
胴体上部接着→ラダーテープ止め→水平尾翼の順です
水平尾翼取り付けの前にエレベーターを先にテープ止め
しておくことをお勧めします



5 モーターマウント 動翼ホーン接着
接着にはホットボンドがお勧めです

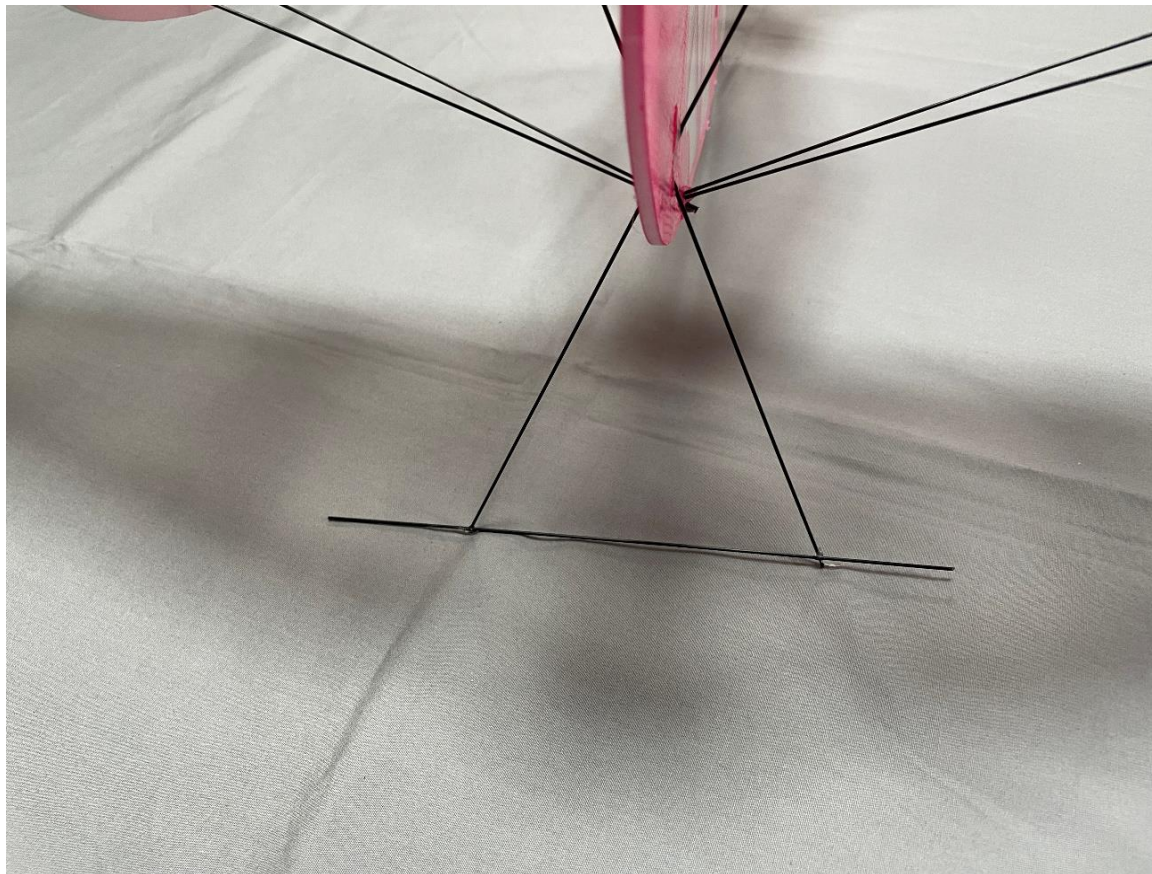


尾輪はカーボンロッドで

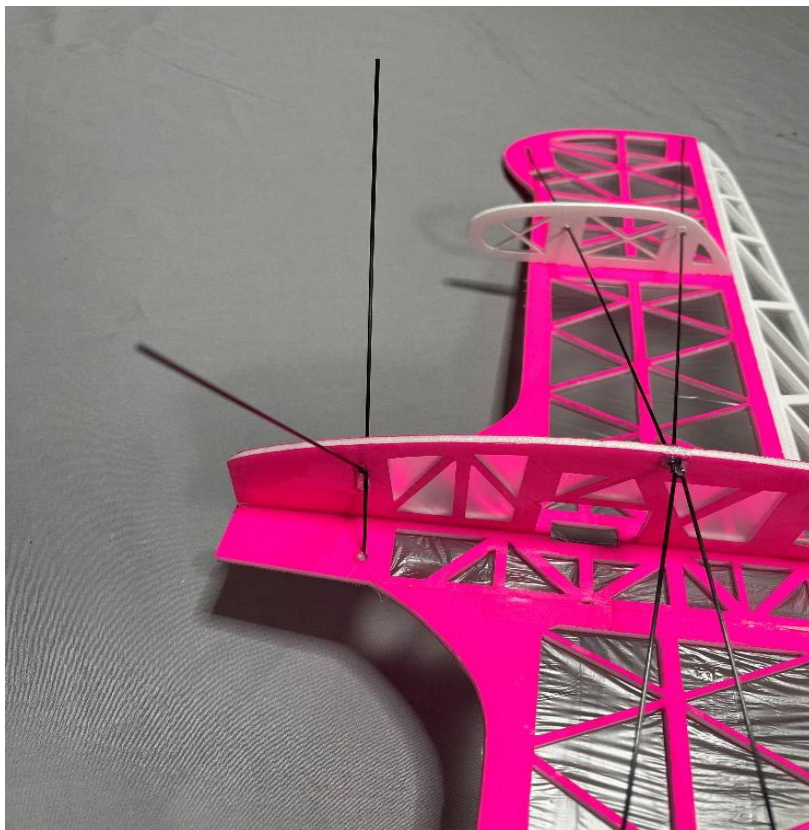


6 脚部

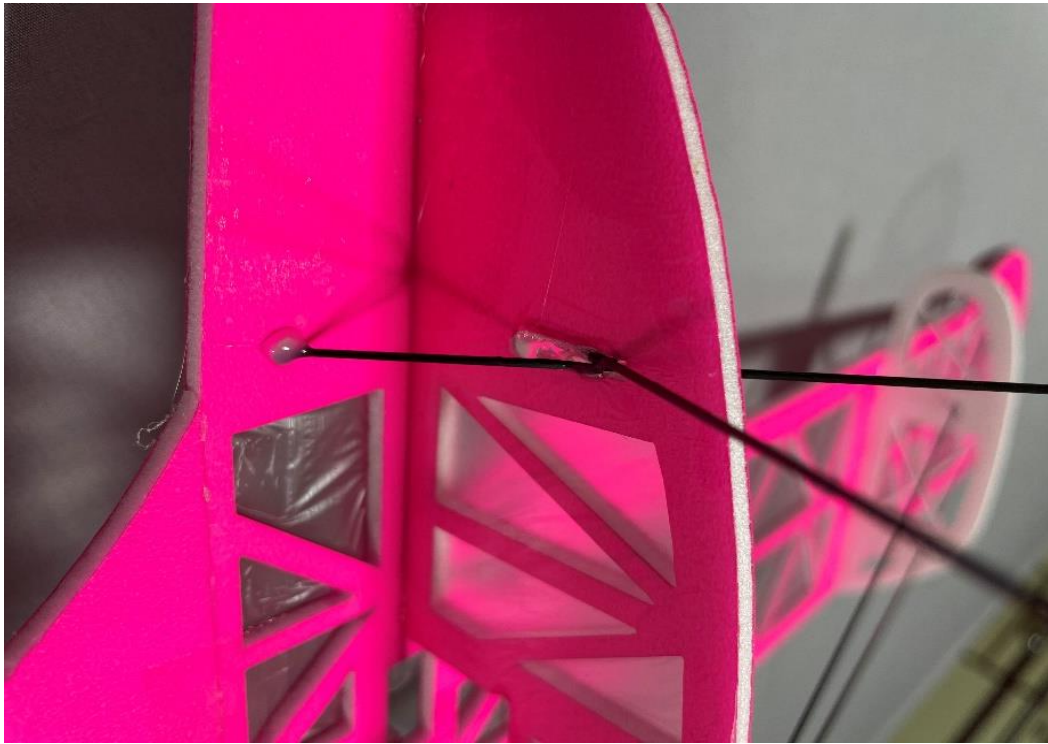
1mmカーボンロッド 19cmを2本と17cm1本を切っておきます



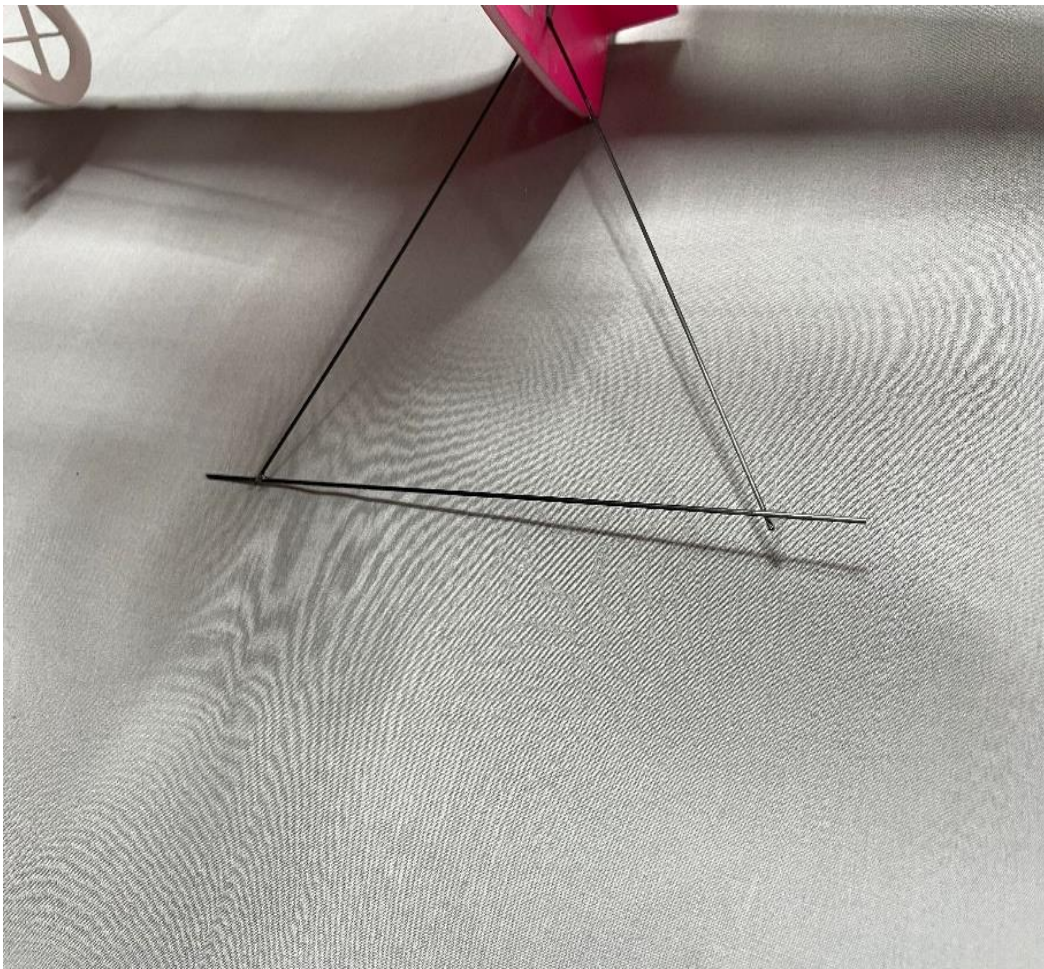
参考写真（機種違い）をご確認ください



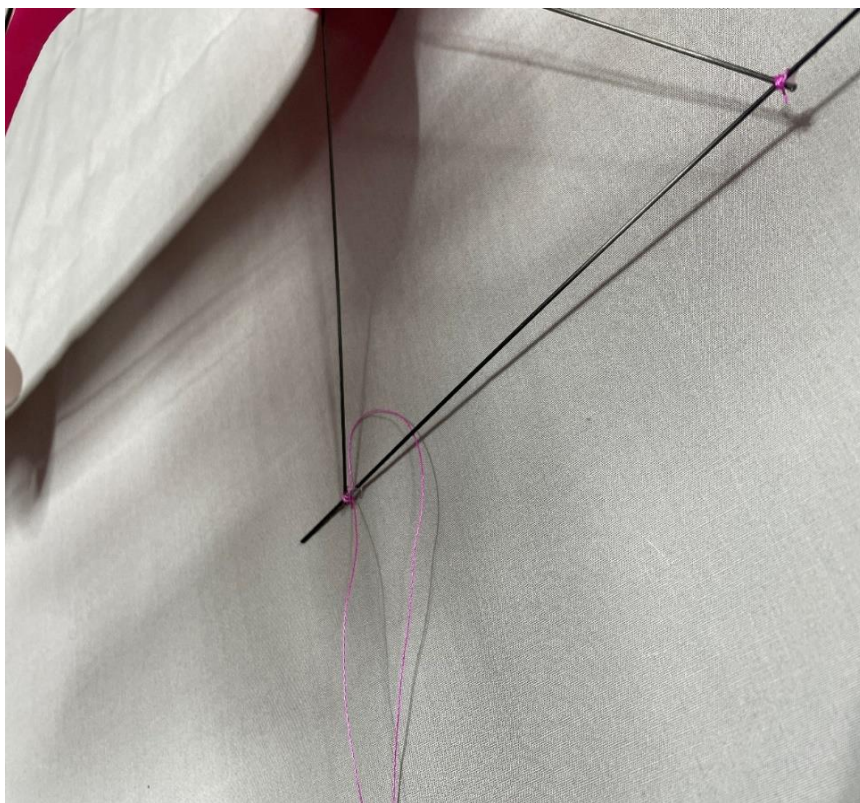
ホ、



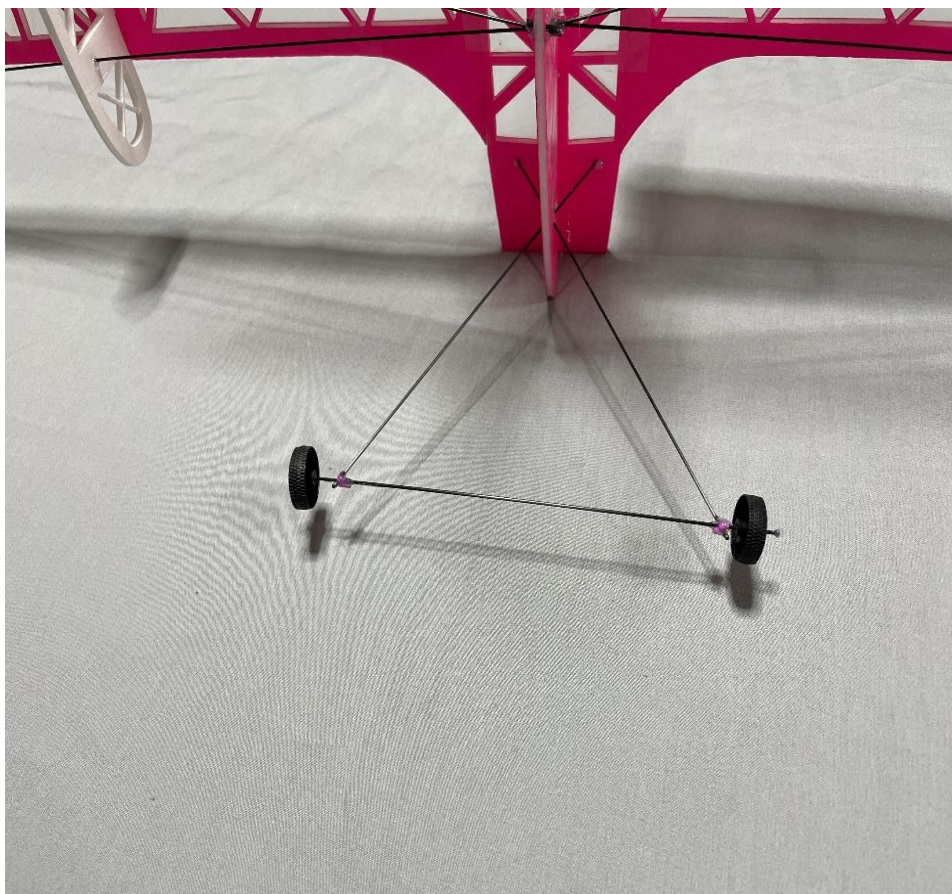
脚部横棒部は一旦瞬間で仮止めした方が進めやすいです



着陸時に外れやすいので糸での補強をお勧めします
仮止めの後糸などで縛りその上から瞬間を流して固定します



タイヤの抜け止めは瞬間団子またはホットボンド団子でOK



生地完成です、引き続きメカ搭載リンケージです



メカ搭載編

モーター 1811-KV3800 (10g)

アンプ 10Aクラス

サーボ エロンは3.5gクラストルク0.5k以上のもの
エレベータ・ラダーは2gクラストルク0.2k以上

プロペラ 5030~6030クラス

バッテリー 200mA 7.4v ~ 300mA 7.4v リポ

メカ搭載につきましては写真を参考にお願いします

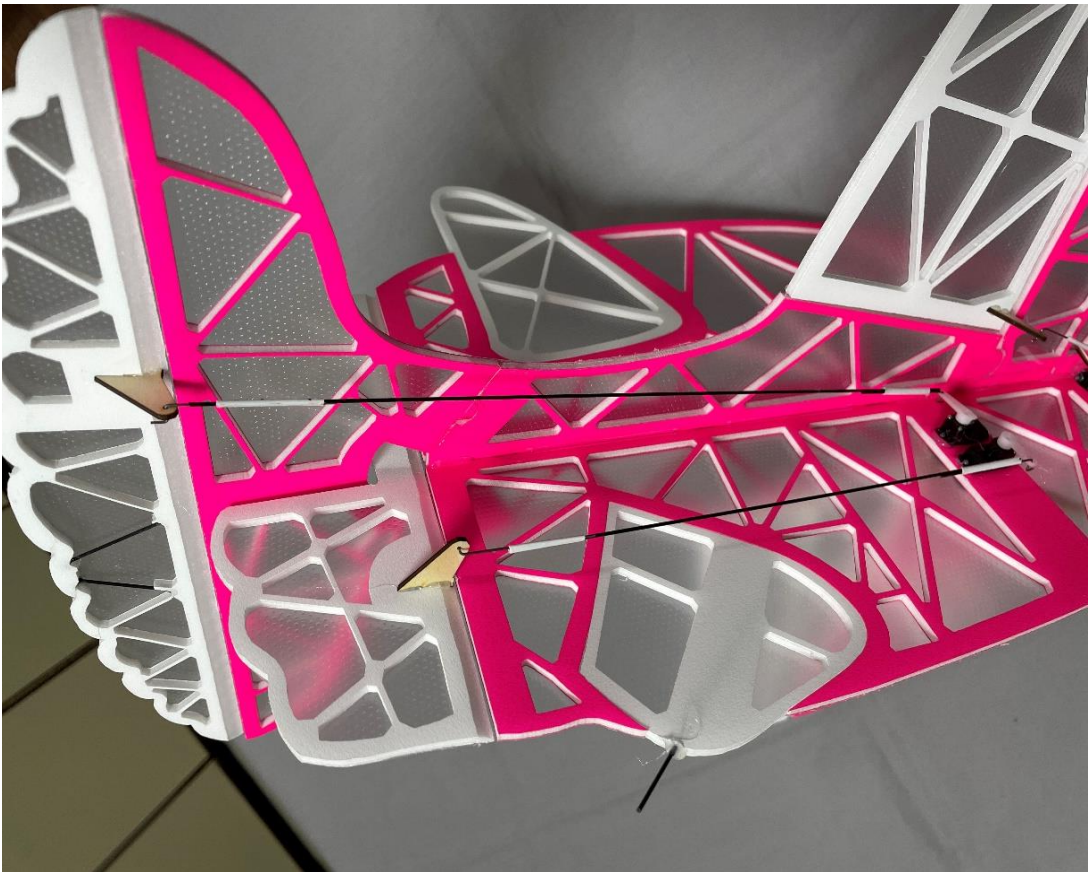
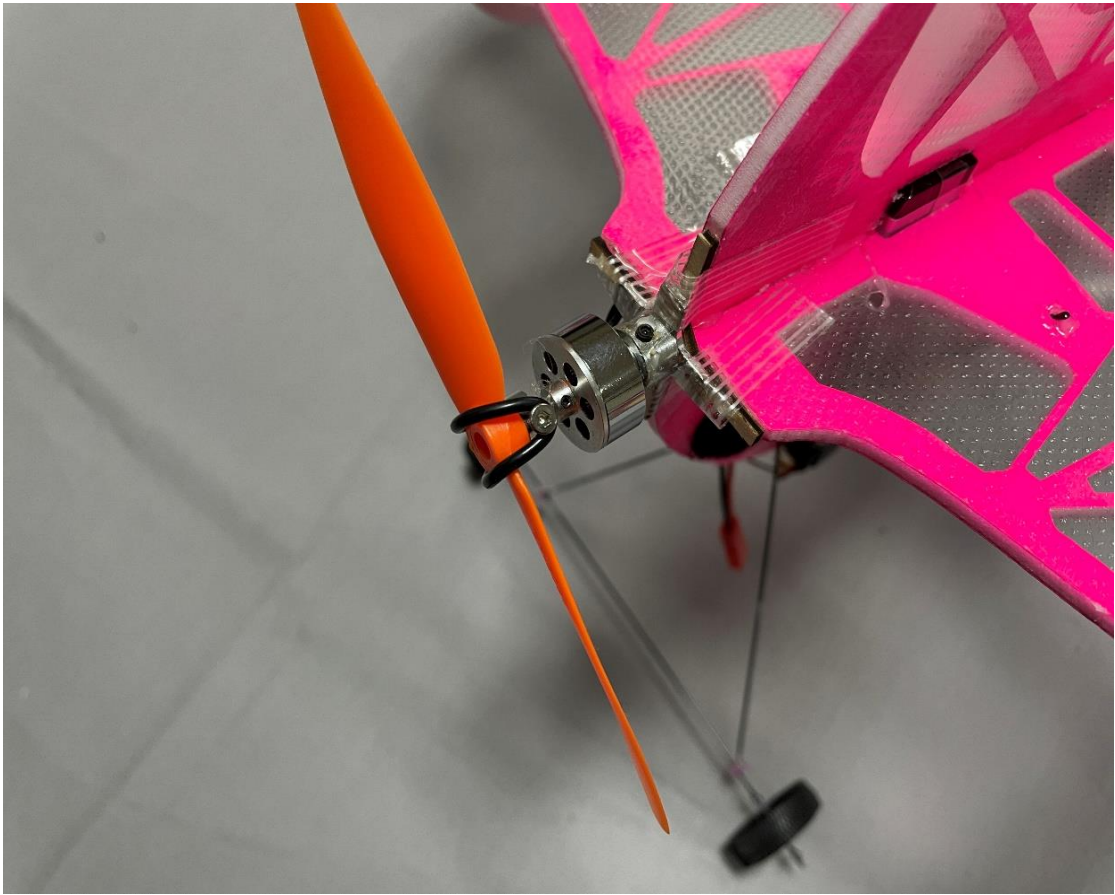
モーター・アンプ・受信機はグラストープで止めています

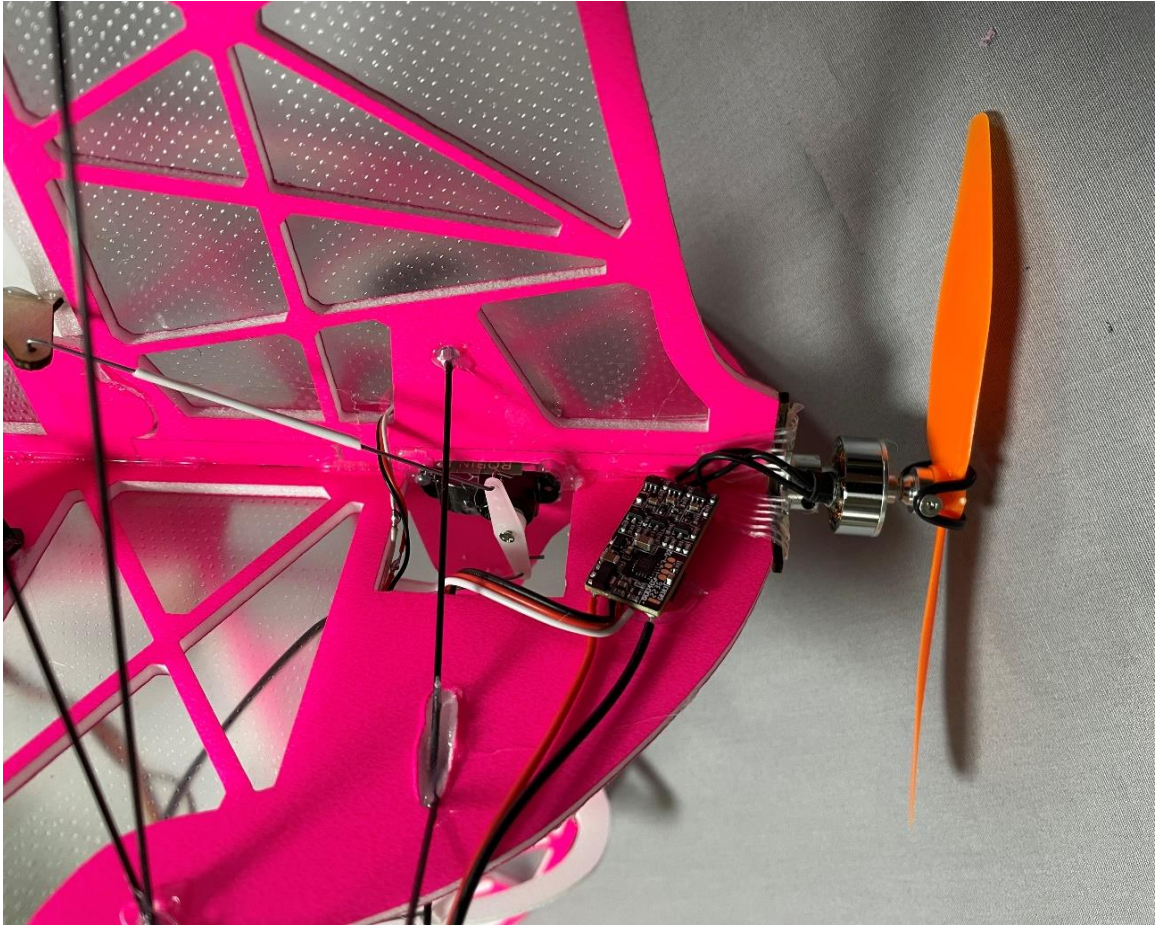
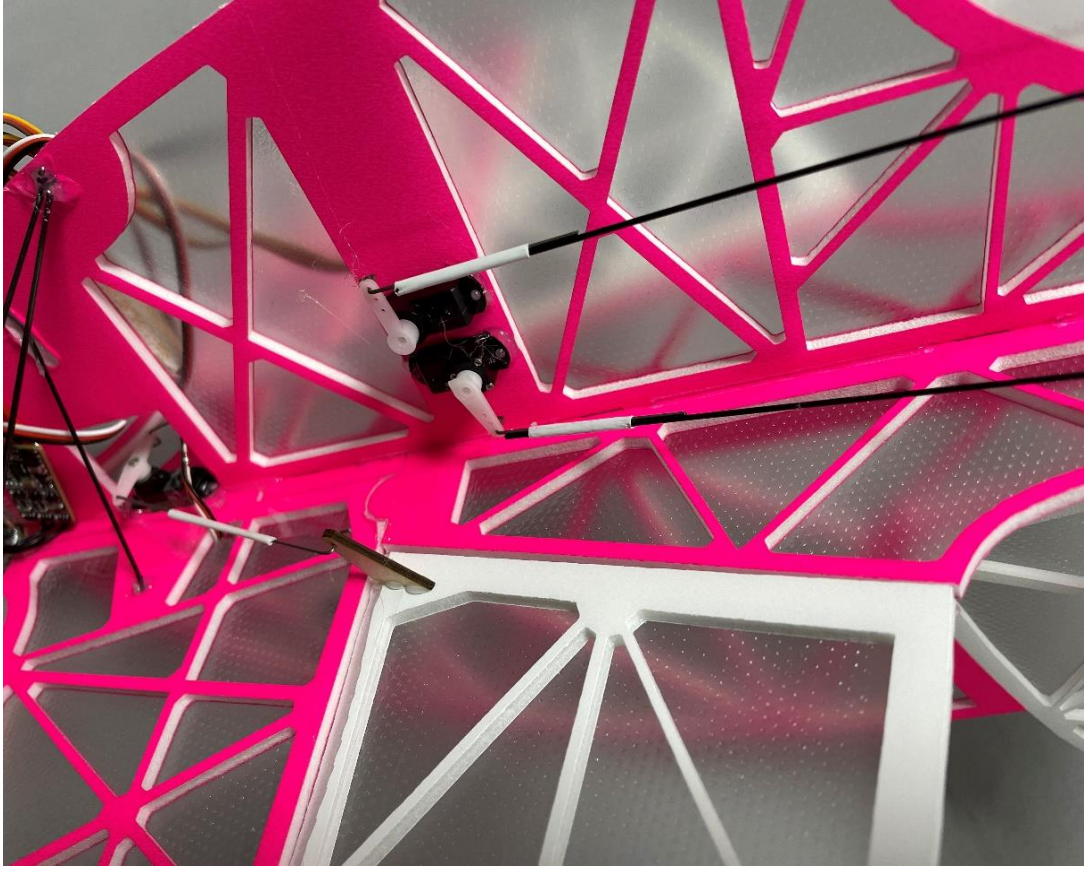
サーボはホットボンドで止めています

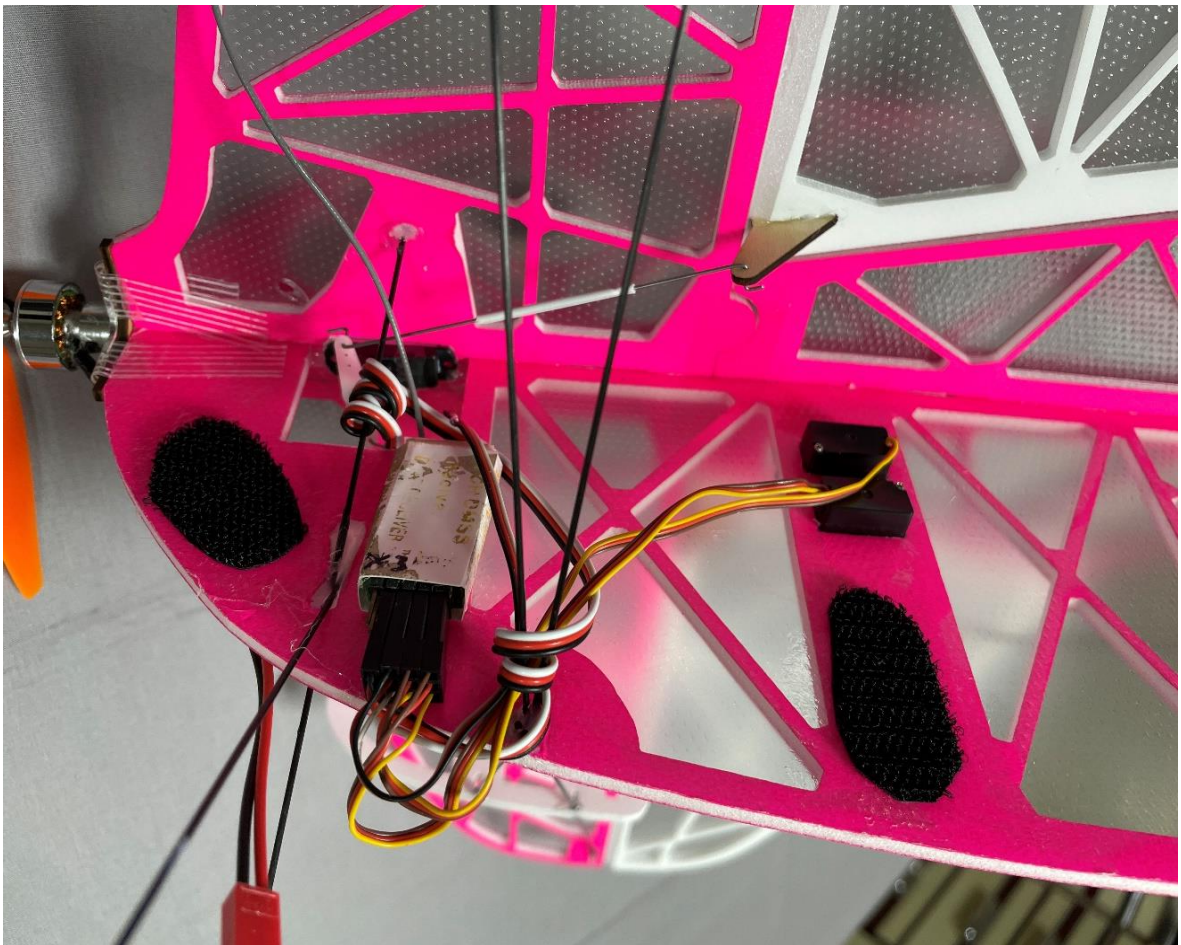
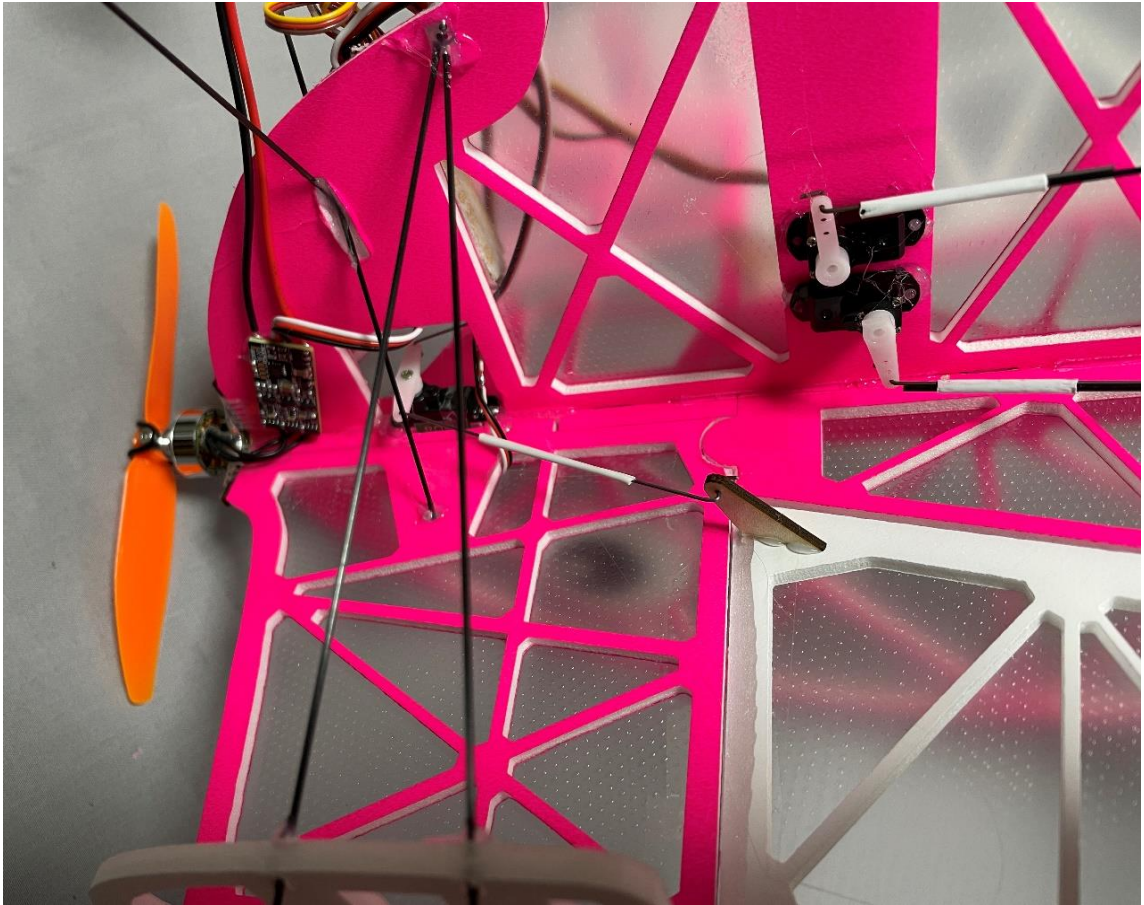
エロンリンケージは付属の0.7mmピアノ線で施工します

途中で収縮チューブで繋ぐと調整しやすいです

エレベータとラダーは1mmカーボンロッドと0.7mmピアノ線を収縮チューブで繋ぎます







黒いファスナーテープが2か所見えていますが
前側が通常飛行の時の重心です (200m A 7.4 v ~ 300m A 7.4 v)
後ろ側がTAP飛行時の重心です (200m A 7.4 v ~ 300m A 7.4 v)

重心位置はモーターマウント (モーターは含まず) から測って
11cm~13cmの位置になります
通常飛行 (スタント含む) は前よりTAP飛行時は後ろよりです

TAP飛行とは トライアルエアプレーンの略です
私が勝手に考えた競技です
公園のブランコや滑り台など障害物を超スロースピードで
くぐる競技です 結構難しく楽しいです
室内競技としてTAPが盛んになる事を夢見ています

ではTAPをお楽しみくださいませ

